

いよいよ、大一美術館も最終週の7日間に入ります。

診断書のように私は重い病を患っています。

多くの皆様の支援に応える為、3度目のQueenのボヘミアン・ラヴソディを観てきました。何度、観ても本当にQueenのフレディマーキュリーは力をくれ、魅了してくれます。

隣の女性に、これは映画館で見る映画とお話しました。

多くの皆様が、ライブ・エイドの後、涙していました。

その次元に私が描き出す絵も到達するため、日々、座禅等で精進に励みます。

私は、今回も2時間以上。半眼で座禅を組みながら鑑賞いたしました。

既に述べてますが、たかが、画家なのに、たまたま評価されて、先生と呼ばれているのは、本当に笑止漫然です。何が美大を出た画家、個展で人気あると天狗になり、先生と呼ばれ喜んでいる安っぽい画家です。そんな信条の輩に負ける気など、一切しない。

本当に凄いのはQueenのフレディマーキュリーのような人々に感銘を与えられるパフォーマーをいうのです。

そして、私がフレディマーキュリーに共感するのは、自身も不治の病と闘っているからです。最近まで、重い骨髄炎を伏せてきましたが、もはや明らかにする時期のため、診断書を公表したのです。確かに私は絵描きとしては、はみ出し者のしがない画家です。

しかし、安っぽい信条の画家たちにはみ出し者の根強さをとことん魅せます。先生と呼ばれ喜んでいる輩に負ける気など一切しません。たかが絵です。

私の病状を聞くと皆様、驚き、そんな状態で、そんなすごい絵がよく描けますねと言われますが、逆に今が、私という男を世間に、より強い人間だと認識してもらうときだと感じます。それがフレディマーキュリーに近づけると感じます。

多くの皆様が、暖かい絵、力強い絵、感銘を受ける絵と評価してくれています。

本当に有り難い事です。感謝の言葉通りのように一段と厳しく精進いたします。

余談ですが、私の絵画展よりもQUEENの映画の方を勧めています。それ位、得るものが多いということです。

いつもの様に、私の考えです。強制は一切致しません。

言葉足らずはご容赦ください。

柿本英雄